

【綾部市】

ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

綾部市のネットワークはセンター集約型となっており、1Gpbs ベストエフォートの法人回線でインターネットに接続している。

令和4年度に MEXCBT の利用に向けて京都府主導のネットワークアセスメントを実施した結果、必要帯域は理論値で 206Mbps とされ要件を満たしていた。

なお、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）で示された推奨帯域は、児童生徒数の減少により、令和8年度に推奨帯域を満たす見込みとなっている（児童生徒数見込み 1,960 人に対し、1,020Mbps が推奨帯域）。

現状、推奨帯域を満たす学校数はセンター集約型であるため、16 校中 0 校で 0% である。また、令和8年度に推奨帯域を満たす見込みの学校は 16 校で 100% である。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定スケジュール

日常的にネットワークのトラフィックを監視しているが、ネットワーク速度は十分に確保できており、日常的な利用には課題はない。ただし、例外としてオペレーティングシステムやアプリケーションのアップデート等が一斉にかかった場合には、ネットワーク負荷が上昇することが分かっている。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

オペレーティングシステムやアプリケーションのアップデート等の一時的なネットワーク負荷増大に対し、負荷分散や配信スケジュールの最適化を行う対策を令和7年度中に実施する。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

令和7年度にコンテンツキャッシュを導入し、大規模な OS・アプリケーションのアップデートデータを事前にキャッシュ化することで、各端末のダウンロード負荷を軽減し、ネットワーク帯域の混雑を抑制する。